

2012年10月12日

日本の銀行を巡る論点

常務執行役員 チーフエコノミスト
高田 創

みずほ総合研究所

金融機関を巡る環境:「5つの日本化現象」

- ・バランスシート調整下で民間(家計・企業)に資金需要がなく、
預貸モデルを前提にした伝統的金融政策の機能不全(利下げ等)
- ・政府は資金不足 ⇒ 金融政策が国債管理政策に影響、運用は国債
- ・海外は資金不足 ⇒ 金融政策が為替政策に影響、貸出しは海外向け
- ・金融機関行動の日本化、社債市場の日本化、金融規制の日本化

金融環境の5つの「日本化現象」

「日本化現象」の分野	状況
資金フローの日本化現象	バランスシート調整に伴い、ISバランスで家計・企業の資金余剰化で資金需要の後退
金融政策の日本化現象	①ゼロ金利、②国債購入、③量的緩和、④時間軸政策
金融機関運用の日本化現象	期待水準を引き下げ、債券への長短金利差(キャリー)確保重視の運用に
クレジット市場の日本化	社債中心にクレジットスプレッド縮小
金融規制の日本化	預金重視の金融規制と流動性重視の対応での国債ニーズ高まり

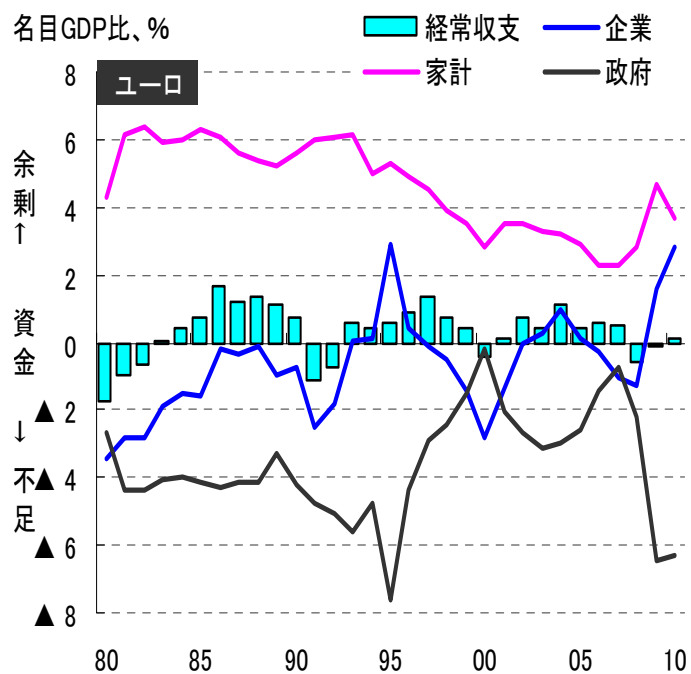
(資料)みずほ総合研究所

欧州のISバランスも日本化に

- ユーロ圏でも日米と同様、家計と事業法人が資金余剰

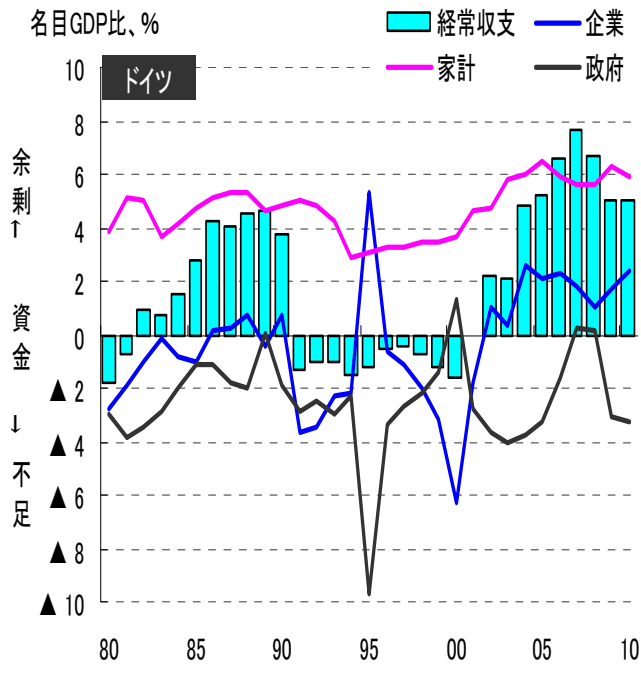
主体別資金過不足状況推移(対名目GDP比)

(ユーロ圏)



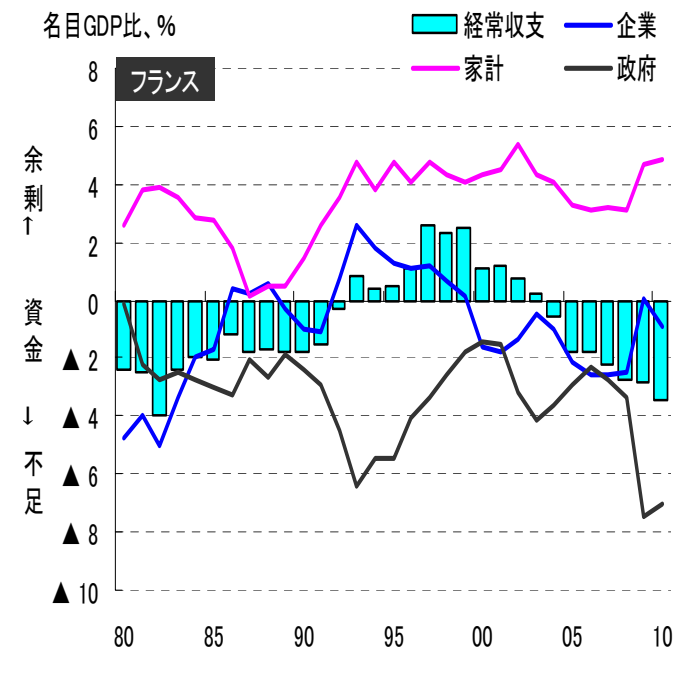
(注)ユーロ圏12カ国ベース。2000年以前でデータの無い国は除外して算出
(資料)欧州委員会

(ドイツ)



(注)90年以前は西ドイツ
(資料)欧州委員会

(フランス)

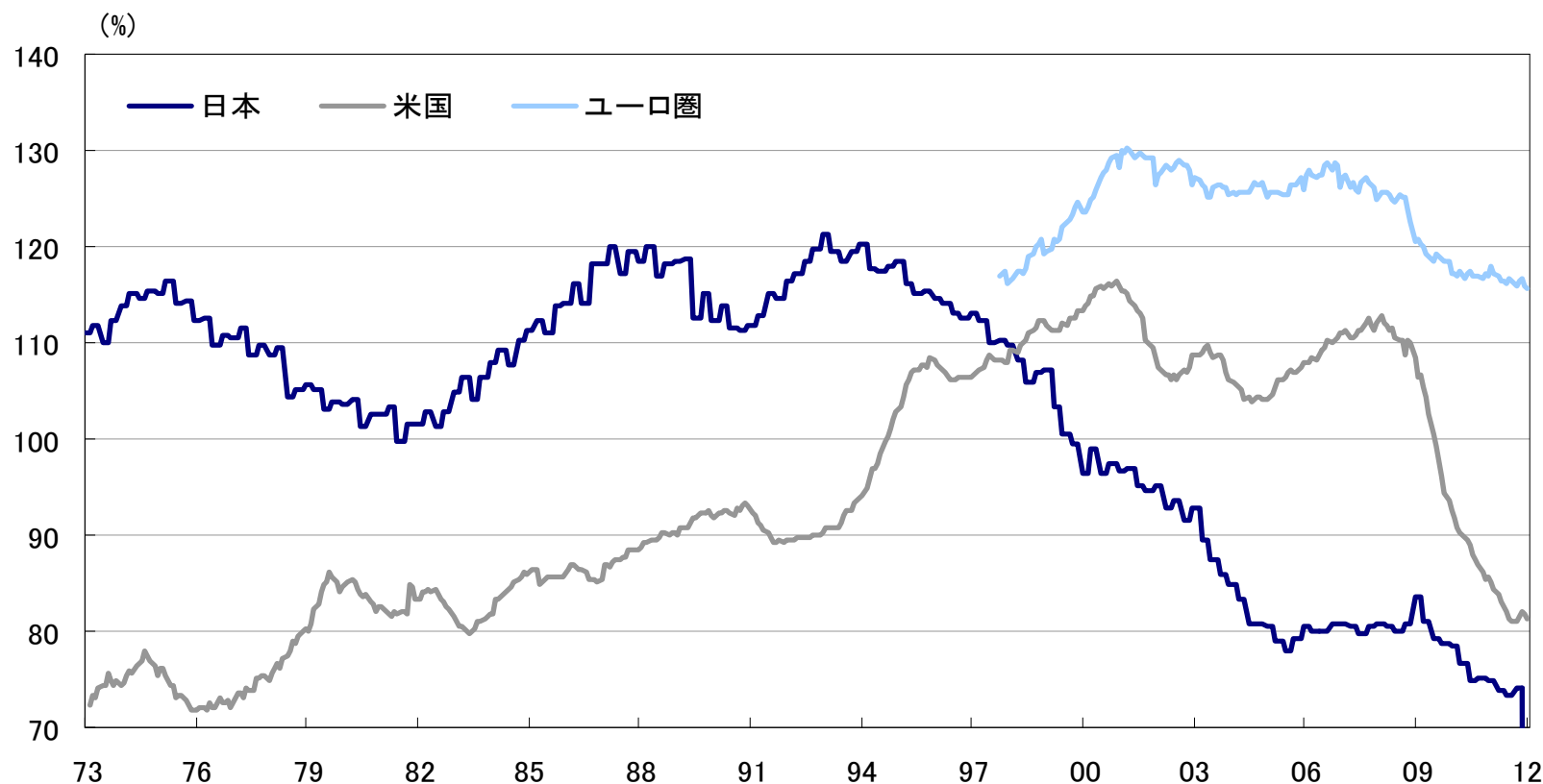


(資料)欧州委員会

日米欧の預貸率推移

- ・ 預貸率からみた世界的なレバレッジ拡大の修正
- ・ 日米はレバレッジの調整が進んだが、欧州は今後も調整余地大きい

日米欧の預貸率推移

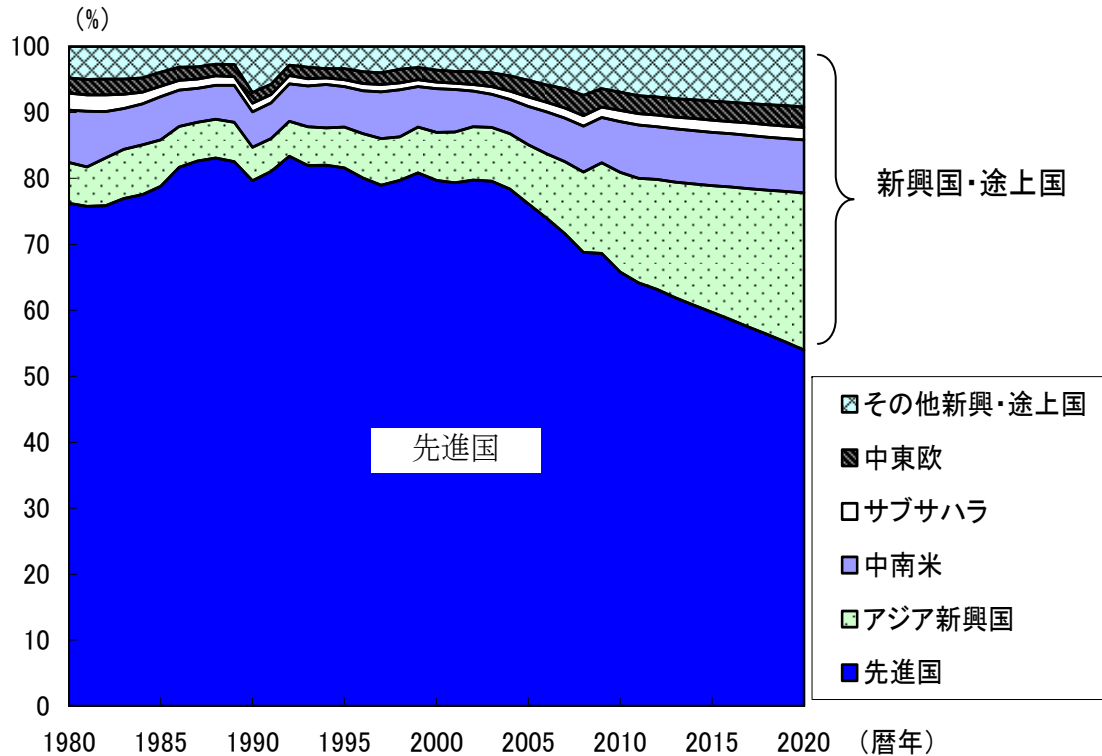


(注)米国は2010/4の会計規則変更を過去に遡って修正、ユーロ圏はインターバンク向け貸出を除く
(資料)日本銀行、Haver、ECBよりみずほ総合研究所作成

新興国、アジアの台頭

- ・ 新興国のGDPシェア拡大、なかでもアジアの拡大→資金需要の存在
- ・ アジアの経常収支黒字の世界シェアは約50% (2010年)

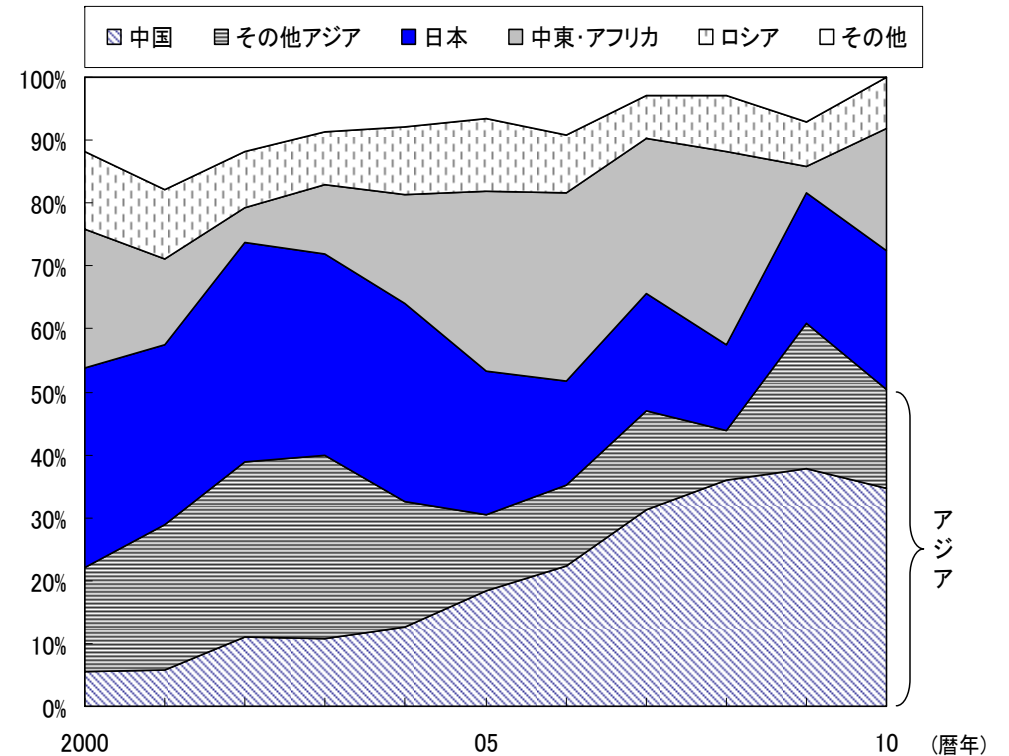
名目GDPの地域別世界シェア



(注) 米ドル市場レートによる換算

(資料) IMF World Economic Outlook Database, September 2011, みずほ総合研究所

世界の経常黒字に占めるアジアのシェア



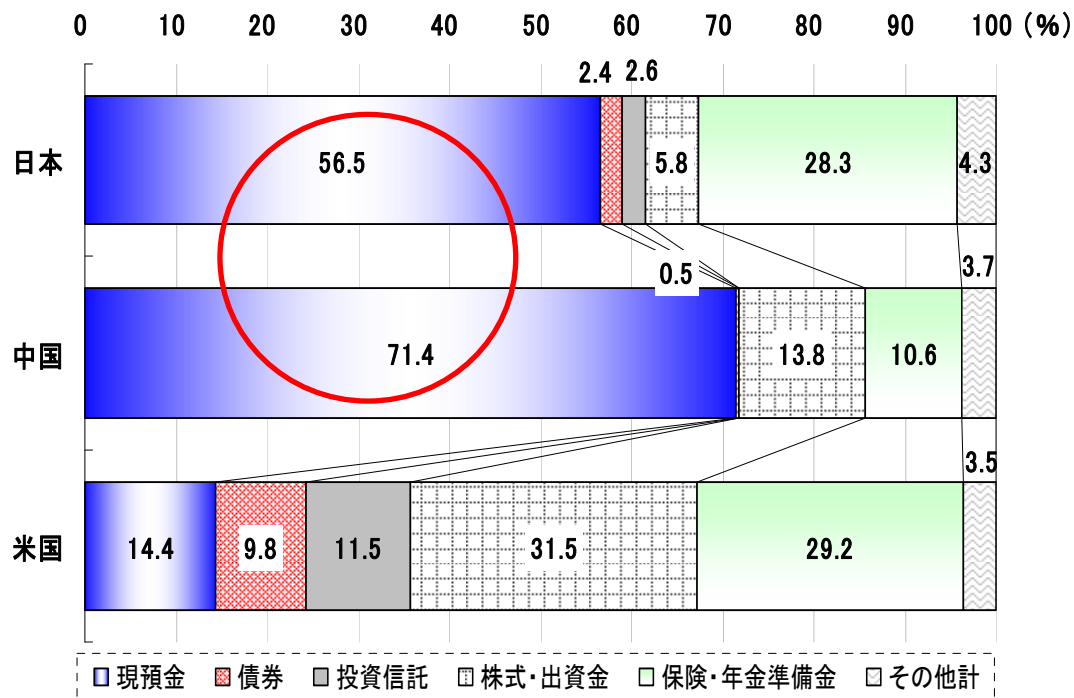
(注) 分母に、中国、その他アジア、日本、中東・アフリカ、ロシア、その他の合算値を用いた試算

(資料) IMF 「World Economic Outlook Database」 September 2011をベースにみずほ総合研究所作成

アジア型と欧米型の金融モデル

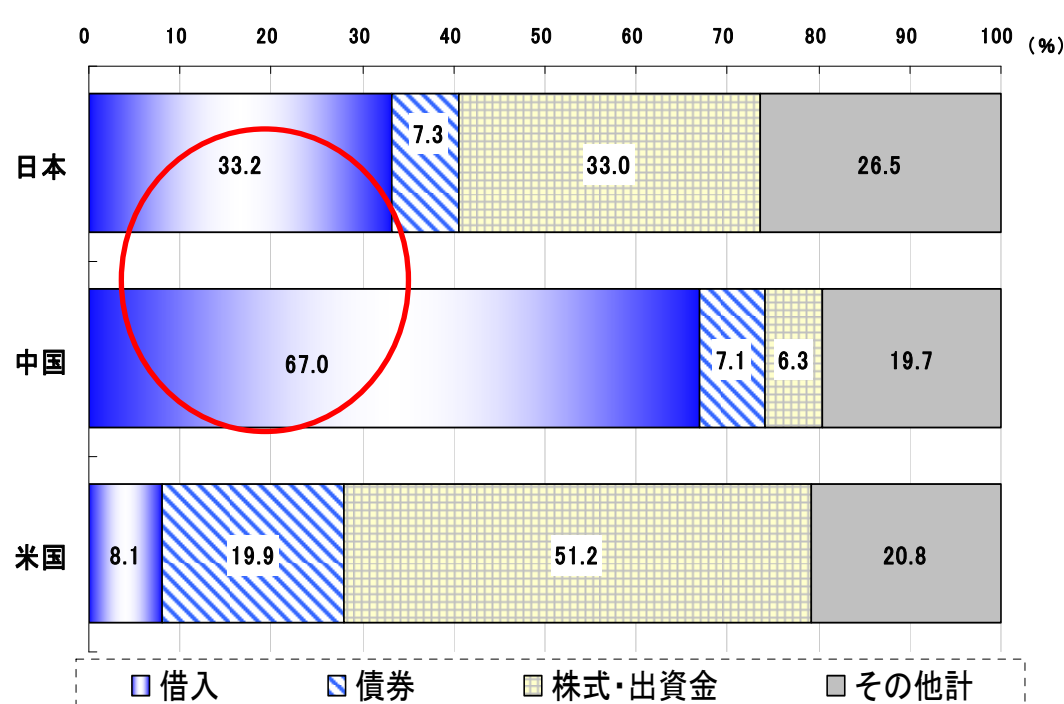
- ・ アジア型は本源的な預金をベースにして預貸率は低くレバレッジは抑制
- ・ 欧米型はトランザクションベースに大量の資金動因をレバレッジ活用で行う

個人金融資産の内訳



(注) 中国は暫定値
 (資料) 日本銀行(2011/12)、FRB(2011/12)
 経済科学出版社『中国居民収入分配年度報告(2011)』

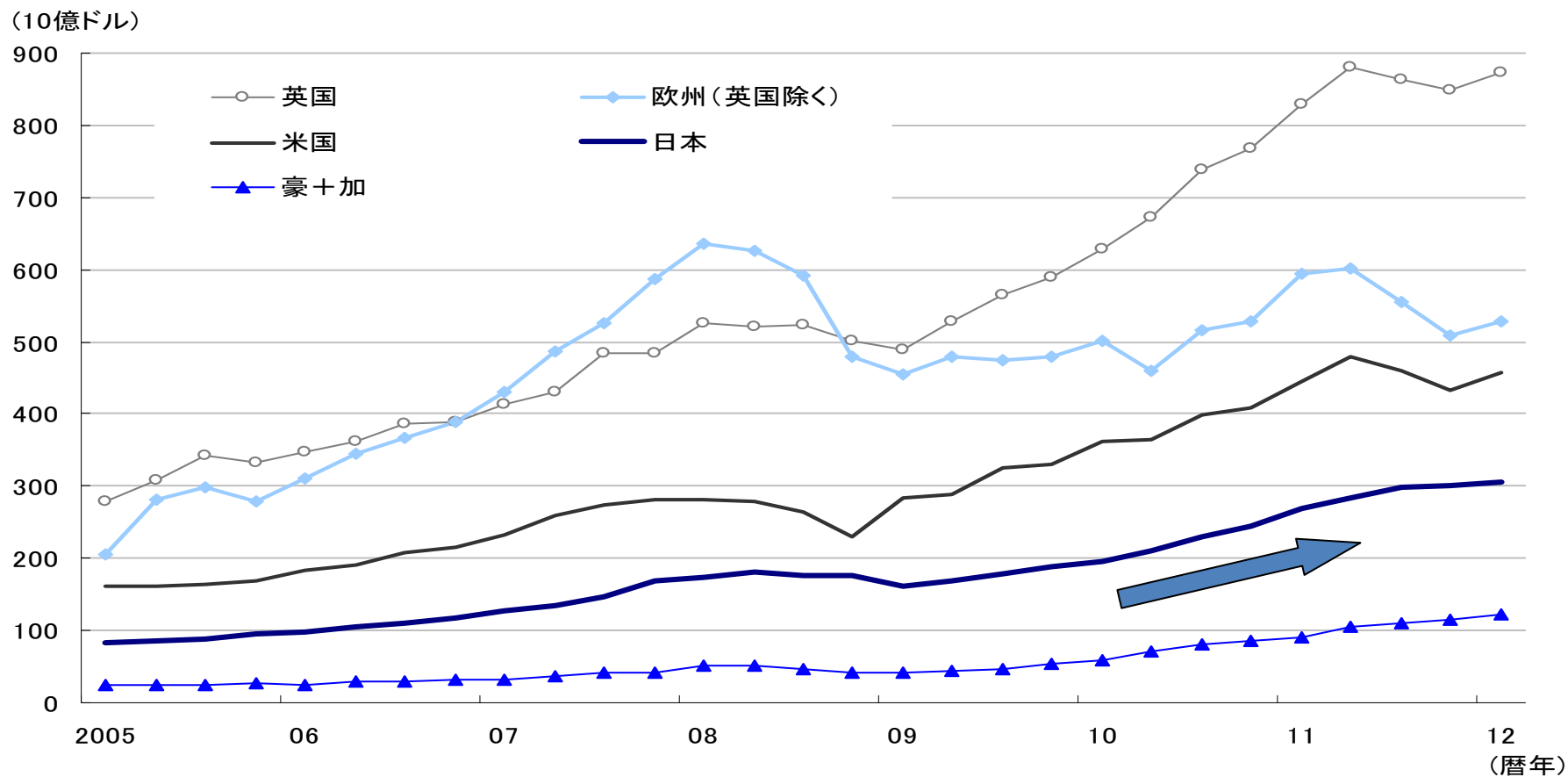
企業の資金調達構造



(注) 中国は2000~2010年の負債増分(フロー)の合計に占める割合
 (資料) 日本銀行(2011/12)、中国人民銀行、FRB(2011/12)、ECB(2011/12)

日本はアジアへの貸出しを拡大

世界の金融機関のアジア向けエクスポージャー残高推移

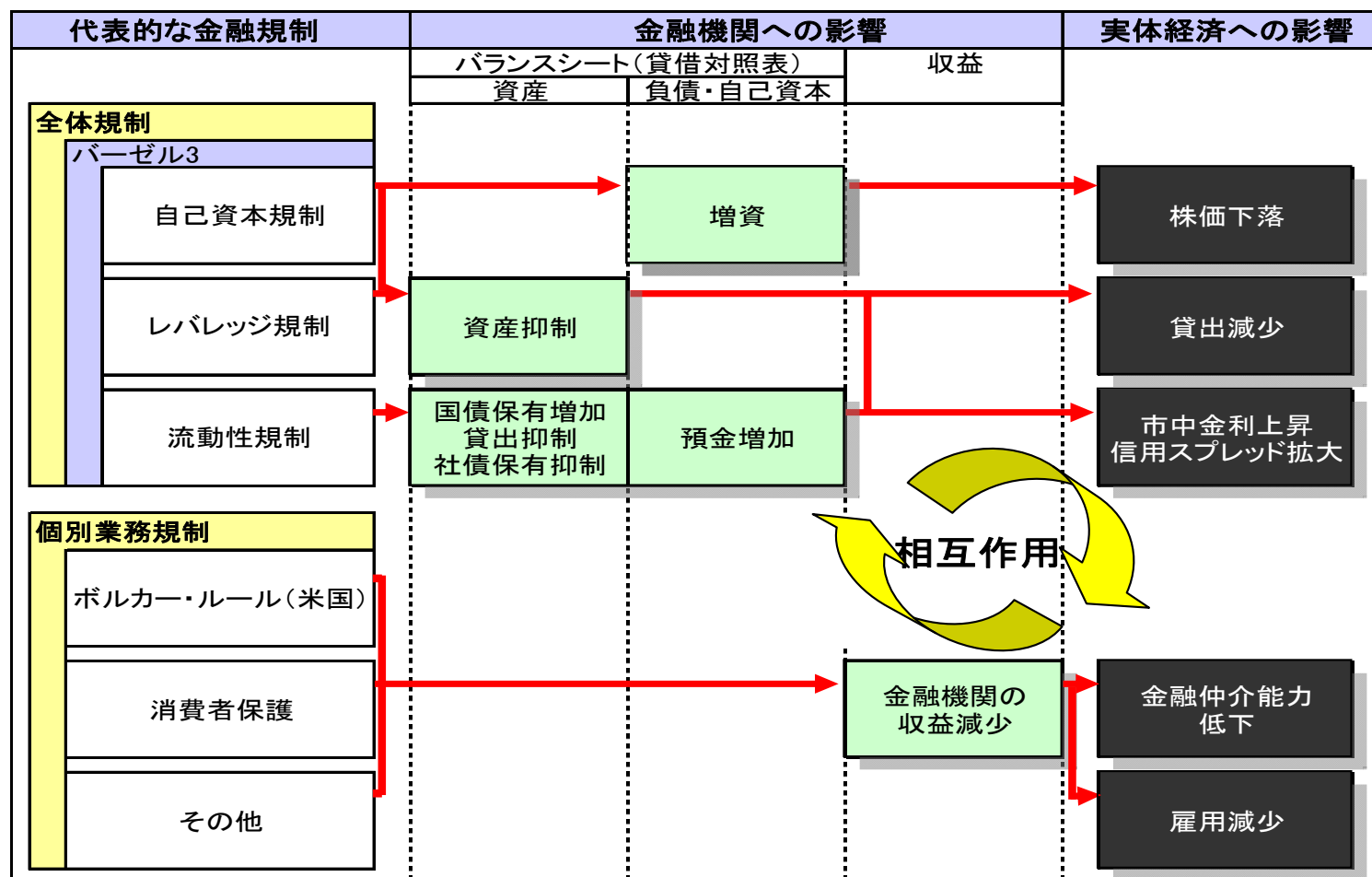


(資料)BISよりみずほ総合研究所作成

グローバル金融規制とは「日本の銀行になれ」か

- ・ 金融規制、バーゼル規制、ボルカールールは預金中心のナローバンク化
- ・ 英国での「リテール・リングフェンス」の議論も同様の金融規制

金融規制が実体経済に与える影響



(資料) みずほ総合研究所

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、弊社が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、弊社はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。